

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2002-319285 (P2002-319285A)

【公開日】平成 14 年 10 月 31 日 (2002.10.31)

【出願番号】特願 2002-78143 (P2002-78143)

【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 C 13/04

G 0 3 H 1/12

G 0 3 H 1/22

G 1 1 C 17/00

【F I】

G 1 1 C 13/04 C

G 0 3 H 1/12

G 0 3 H 1/22

G 1 1 C 17/00 5 8 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 9 日 (2005.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザ光を発生するレーザと、

前記レーザ光から対象ビームと参照ビームとを形成する光学素子の集合であって、前記参照ビームは前記対象ビームの 0 周波数フーリエ成分から形成される光学素子の集合と、

前記対象ビーム中のコード化データのためのデータエンコーダと、

前記参照ビームと対象ビームとの干渉で形成されるホログラムを含むホログラフィック媒体と、

前記ホログラムが参照ビームによって照射されるときのみ前記ホログラム中のデータを検出するためのデータ検出器と、

からなるホログラフィックデータ記憶システム。

【請求項 2】

少なくとも一つの記憶されたホログラムを備えるホログラフィックデータ記憶手段であって、前記記憶されたホログラムは、

データがコード化された第 1 の光ビームで前記媒体のエリアを照射することと、

前記第 1 の光ビームの 0 周波数のフーリエ成分を第 2 の光ビームを形成するために光学的に誘導することと、

前記媒体のエリアを前記第 2 の光ビームで照射すること、

とのプロセスによって形成されるホログラフィックデータ記憶手段。